



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 美津濃株式会社

上場取引所 東

コード番号 8022 URL <http://www.mizuno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 明人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理財務担当 (氏名) 福本 大介

TEL 06-6614-8465

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	132,195	9.3	3,592	52.5	4,020	51.1	2,083	52.1
25年3月期第3四半期	120,937	5.3	2,356	△48.2	2,661	△36.1	1,370	△41.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,476百万円 (124.7%) 25年3月期第3四半期 2,437百万円 (52.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	16.64	—
25年3月期第3四半期	10.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	158,131	87,141	55.0	691.91
25年3月期	150,992	82,536	54.5	659.22

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 86,944百万円 25年3月期 82,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	183,000	11.8	5,500	52.6	5,500	34.3	2,100	7.9	16.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	132,891,217 株	25年3月期	132,891,217 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	7,231,733 株	25年3月期	7,953,071 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	125,230,200 株	25年3月期3Q	124,694,794 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、当連結会計年度において、グローバルビジネスの拡大を通じた海外市場での一層の拡販、プロダクション機能強化による安定的な商品供給、及び国内事業基盤の再構築を最重要課題と位置づけ事業経営に取り組んでまいりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）における当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

グローバル全域でライフスタイルスポーツ品の販売が堅調に推移したことや、米州でのゴルフ品の業績回復、連結子会社の増加などにより、売上高は112億5千7百万円増収（9.3%増）の1,321億9千5百万円となりました。売上総利益率は、海外製造コストの上昇や円安の定着などによって0.7ポイント低下したものの、経費コントロール強化のもと販売費及び一般管理費の抑制に努め、営業利益は12億3千6百万円増益（52.5%増）の35億9千2百万円となりました。営業外損益（純額）がほぼ前年同期並みとなったことから、経常利益は営業増益を主因として13億5千9百万円増益（51.1%増）の40億2千万円となりました。四半期純利益は経常増益により7億1千3百万円増益（52.1%増）の20億8千3百万円を計上いたしました。

① 日本

前四半期連結会計期間より引き続き、ランニングシューズやトレーニングアパレルの販売が堅調に推移いたしました。3回目となった「大阪マラソン2013」のスポンサー効果が追い風となって、ランニングシューズ<ウエーブライダー17>やトレーニングアパレル「バイオギア」シリーズなどが、ユーザーより広く支持を得ました。また、吸湿発熱素材<プレスサーモ>は、ラインアップの充実と効果的なプロモーションにより市場への浸透が一層進みました。一方、ベースボール品やコンペティション（競技）スポーツ品は、一部に堅調な商品や種目もありましたが、全体としては苦戦いたしました。ゴルフ品はカスタムフィッティングのクラブやシューズを除き厳しい状況となりました。

この結果、売上高は4億5千3百万円増収（0.5%増）の908億8千1百万円となりました。営業利益は販売費及び一般管理費の低減も寄与し5億4千9百万円増益（36.1%増）の20億6千8百万円となりました。

② 欧州

欧州は、ランニングシューズが高い機能性において、市場より評価を受けて引き続き堅調に推移いたしました。なかでも、草の根マーケティングを継続的に実行したフランスで販売を大きく伸ばしました。加えて、バレーボールやハンドボールなどのインドアスポーツの種目でも、ユーザーの根強いニーズに応じて健闘いたしました。一方、ゴルフ品は、需要の回復が望めない状況で苦戦が続きましました。また、当第3四半期連結会計期間より、スペインの現地法人MIZUNO IBERIA, S.L.を連結しております。

この結果、売上高は29億6千5百万円増収（42.1%増）の100億6百万円となりました。営業損益は2億3千7百万円改善して黒字に転じ、1億8千万円の営業利益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における欧州各通貨の換算レートは以下のとおりです。

英ポンド：155.81円（前年同期：128.02円）、ユーロ（欧州支店）：132.09円（前年同期：103.22円）、ユーロ（子会社イタリア）：126.12円（前年同期：—）、ユーロ（子会社スペイン）：130.15円（前年同期：—）

③ 米州

米州では、米景気回復の兆しが後押しにもなりましたが、シェアアップを図るランニングシューズの販売が堅調に推移し業績を牽引いたしました。＜ミズノウェーブ＞への評価の高さは、北米に加えて南米においても同様の動向を示しました。ゴルフ品は、高い技術力で定評のある、アイアンのカスタムフィッティングを中心にクラブの販売額を伸ばしました。また、バレーボールなどのチームスポーツでも健闘いたしました。

この結果、売上高は53億4千5百万円増収（31.6%増）の222億5千7百万円、営業利益は4億3千9百万円増益（67.5%増）の10億9千1百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における米州各通貨の換算レートは以下のとおりです。

米ドル：95.59円（前年同期：79.07円）、カナダドル：93.30円（前年同期：78.81円）

④ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアにおいては、市場へのブランド浸透が進んでいる状況のもと、種々のマーケティング活動が効果を発揮いたしました。それにより、ランニングシューズやライフスタイルスポーツのアップレルの販売が堅調に推移し、当セグメント全体として安定的な成長を示しました。一方で、中国販売事業は、収支改善を目指しコスト削減に努めたものの、市場の需給状態が上向く兆しが見えず在庫調整を進めたことで利益を圧迫いたしました。また、当第3四半期連結会計期間より、韓国における現地法人MIZUNO KOREA LTD.を連結しております。

この結果、売上高は24億9千3百万円増収（38.0%増）の90億4千9百万円となり、営業利益は3千8百万円増益（15.9%増）の2億7千7百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるアジア・オセアニア各通貨の換算レートは以下のとおりです。

台湾ドル：3.22円（前年同期：2.66円）、香港ドル：12.33円（前年同期：10.19円）、
中国元：15.42円（前年同期：12.52円）、豪ドル：93.50円（前年同期：81.72円）、
韓国ウォン（100ウォンあたり）：8.82円（前年同期：—）

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ71億3千8百万円増加して1,581億3千1百万円となりました。現金及び預金が35億2千4百万円、商品及び製品が24億3千6百万円、のれんが18億9百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ25億3千3百万円増加して709億9千万円となりました。支払手形及び買掛金が18億5千8百万円、未払金及び未払費用が13億6千3百万円それぞれ減少した反面、長短の借入金が42億9千1百万円増加したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ46億5百万円増加して871億4千1百万円となりました。主な要因として、利益剰余金が8億4千万円、その他有価証券評価差額金が7億4千2百万円それぞれ増加したことに加え、為替換算調整勘定が21億8千万円増加する方向にはたりました。

純資産の増加を受けて、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.5%から55.0%へと0.5ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月13日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

重要性が増したため、MIZUNO ITALIA S. R. L. を第1四半期連結会計期間より、MIZUNO IBERIA, S. L. およびMIZUNO KOREA LTD. を当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,386	14,911
受取手形及び売掛金	41,474	40,928
有価証券	142	142
商品及び製品	27,351	29,787
仕掛品	603	1,000
原材料及び貯蔵品	2,460	2,727
繰延税金資産	1,566	1,263
その他	5,757	6,704
貸倒引当金	△940	△1,138
流動資産合計	89,801	96,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,747	17,523
土地	17,226	17,226
その他(純額)	2,213	2,389
有形固定資産合計	37,187	37,138
無形固定資産		
のれん	1,934	3,743
その他	7,548	7,345
無形固定資産合計	9,483	11,089
投資その他の資産		
投資有価証券	8,021	9,384
繰延税金資産	1,218	782
その他	5,927	4,327
貸倒引当金	△646	△917
投資その他の資産合計	14,520	13,576
固定資産合計	61,191	61,805
資産合計	150,992	158,131

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,200	17,341
短期借入金	9,102	8,864
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,150
未払金及び未払費用	9,995	8,632
未払法人税等	830	1,412
返品調整引当金	273	323
その他	1,666	1,896
流動負債合計	44,068	41,621
固定負債		
長期借入金	13,573	17,952
繰延税金負債	2,670	2,607
再評価に係る繰延税金負債	2,830	2,830
退職給付引当金	1,811	2,013
資産除去債務	249	236
その他	3,251	3,728
固定負債合計	24,387	29,368
負債合計	68,456	70,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,212	31,387
利益剰余金	27,925	28,765
自己株式	△2,892	△2,633
株主資本合計	82,382	83,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,927	2,670
繰延ヘッジ損益	1,529	1,912
土地再評価差額金	△657	△654
為替換算調整勘定	△2,820	△640
その他の包括利益累計額合計	△21	3,288
少数株主持分	174	196
純資産合計	82,536	87,141
負債純資産合計	150,992	158,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	120,937	132,195
売上原価	71,185	78,807
売上総利益	49,751	53,387
販売費及び一般管理費	47,395	49,794
営業利益	2,356	3,592
営業外収益		
受取利息	186	305
受取配当金	152	152
為替差益	372	341
その他	318	419
営業外収益合計	1,029	1,219
営業外費用		
支払利息	247	278
売上割引	275	305
その他	201	207
営業外費用合計	725	791
経常利益	2,661	4,020
特別利益		
固定資産売却益	221	5
特別利益合計	221	5
特別損失		
固定資産売却損	11	12
固定資産除却損	2	7
投資有価証券評価損	24	—
貸倒引当金繰入額	—	91
早期退職特別加算金	83	—
訴訟和解金	—	30
その他	9	—
特別損失合計	131	141
税金等調整前四半期純利益	2,750	3,884
法人税等	1,332	1,736
少数株主損益調整前四半期純利益	1,418	2,148
少数株主利益	48	64
四半期純利益	1,370	2,083

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,418	2,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136	742
繰延ヘッジ損益	862	383
為替換算調整勘定	20	2,202
その他の包括利益合計	1,019	3,328
四半期包括利益	2,437	5,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,379	5,390
少数株主に係る四半期包括利益	57	85

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。